

そう だい
総 題 「聖書をいかに解釈するか」

だいろく か かいしゃく ひつよう
第6課 解釈はなぜ必要なのか

たけだ まさや
武田 将弥

あんそくにちごご
1. 安息日午後

せいしよ よ ぼなし れきし ものがたり よげん せつめい しょうちようてき ゆめ いろいろ しゆるい
聖書を読んでみると、たとえ話、歴史の物語、預言を説明する象徴的な夢など、色々な種類の
はなし で せいしよ はなし すべ たいせつ いみ かく いみ りかい
お話が出てきます。聖書のお話には全て大切な意味が隠されており、その意味をしっかりと理解するため
には、ただ せいしよ よ ひつよう
正しく聖書を読む必要があります。これを「解釈」といいますが、もっと簡単な言葉で説明する
と「受け取り方」のことで

せいしよ なんと よ ひと すでに かん
聖書を何度も読んでいいる人なら、すでに感じたことがあるかもしれませんが、むかし読んだことがあるお
はなし まえ よ とき ちが かん あたま ころ なか はい けいけん
話でも、前に読んだ時とは違う感じで頭と心の中に入ってくる経験をしたことがありますか？ た
とえば前に読んだ時は何も感じなかったのに、今読んだらすごく励まされた気持ちになったとか、逆に自
ぶん わる ころに 気がついてしまい、苦しい気持ちになったりするという経験です。どうして聖書に書か
はなし か よ かん かた ちが じつ せいしよ げんいん りゆう
れているお話は変わっていないのに、読むたびに感じ方が違うのかというと、実は聖書が原因(理由)
というよりも、読む人がその時にどんな気持ちや状態になっているかが原因(理由)となっていることが
おお 多いのです。たとえば心 が暗くて沈んでいる時に読むのと、嬉しくて飛び跳ねたい気分(気持ち)の時に
よ かん ぜんぜん か
読むのとでは、感じ方が全然変わってくるはず

かみさま つた じぶん まちが う と ちゅうい こんしゅう
神様が伝えたいメッセージを、自分が間違っ受けて止めてしまうことには注意してください。今週は
う と かた かいしゃく じゅうようせい まな おも
受け取り方である「解釈」の重要性について学んでいきたいと思

にちようび ぜんてい
2. 日曜日：前提

わたし せいしよ よ とき じぶん よ よ ぐせ
私たちは聖書を読む時に、どうしても自分の読みたいように読んでしまう「癖」みたいなものが出てし
まいます。それは自分で意識する・しないに関係なく、みんなそうなのです。ですから聖書を完全に正し
かいしゃく だれ で き あ がた かた しんり れい く
く解釈することは誰にも出来ません。しかし有り難いことに「その方、すなわち真理の霊が来ると、あな
たがたをあらゆる真理に導いてくれる。」(ヨハネ16(じゅうろく):13(じゅうさん) 聖書協会共同
やく かみさま やくそく よう せいれい かみさま わたし う と かた ただ ほうこう
訳)と、神様は約束をしてくれています。要するに聖霊の神様が私たちの受け取り方を、正しい方向

みちびに導いてくださるのです。だから聖書を読む前には必ず祈りをしましょう。

3. 月曜日：翻訳と解釈

聖書は大昔の古い言葉で書かれました。たとえば旧約聖書のほとんどが「ヘブライ語」ですし、新約聖書は「ギリシャ語」で書かれています。そのまま読める人は少ないので、今では様々な国の言葉に翻訳されていますが、どうしても100%（パーセント）正確に意味を解釈して翻訳することは出来ません。

もしも聖書に書かれている意味を完全に正しく受け取りたい場合は、聖書を書いた本人に直接教えてもらうのが一番です。ということは、今から2000年くらい前に聖書そのものと言ってもよいイエス様に、直接お会いできた12弟子たちや、同じ時代に同じ国で生活していた当時の人達は、本当に幸運な人だと言えるでしょう。なぜなら聖書の意味を間違えて受け取っていたとしても、それを直接イエス様が直して下さるからです。

4. 火曜日：聖書と文化

聖書はかなり昔に、しかも日本から遠く離れた土地で書かれたものですが、不思議なことに現代の私たちにもちゃんと通用します（伝わります）。その理由は、聖書が神様によって書かれた「真理」だからなのです。真理というのは神様と同じで、すべての人に平等です。だから聖書を読んだ人の国や性別、年齢や文化がバラバラだったとしても、すべての人にちゃんと通用する（伝わる）のです。これは本当に不思議であり、素晴らしいことなのです！

5. 水曜日：罪深く、墮落した人間の性質

神様と人間の間を邪魔している（神様と人間の間を切る）ものは「罪」です。まだアダムたちが罪を知らなかった頃は良かったのですが、悪魔（サタン）にそそのかされて（騙されて）罪を犯して（神様から離れて）からは、人間は真理を理解する力を大きく失ってしまいました。

罪が入り込む（サタンとの関係を持つ）と、神様よりも自分の考えや気持ちを優先するようになり、良くないことだと分かっているにもかかわらず、つい悪いことをしてしまう心の弱さが出てきます。罪が入り込んでしまう（サタンとの関係を持ってしまう）と性質（性格）が自分勝手（ワガママ）になってしまい、我慢することが苦手になってしまうのです。しかし逆に心が神様によって罪が清められてくると、他人を助けようとする親切な気持ちが湧いてきて、聖書の解釈や受け取り方が素直になってきます。

6. 木曜日：なぜ解釈は重要なのか

たとえばあるレストランがあったとします。しかし誰かが「あそこのお店はあまり美味しくないよ」という噂話を流したら、それを聞いた人たちはお店に行かなくなるでしょう。たとえお店に入ったとしても、心のどこかで（きっと美味しくないんだろうな）という、食べる前から思い込みがある状態で食べるわけですから、実際に食べても不信感のせいであまり美味しい感動をおぼえない（感動がない）かもしれません。

それと同じように聖書の解釈はとても大切です。もしも私たちが真理を真に受け止めて、それをそのまま他の人に伝えた場合、せっかくの神様の愛のメッセージが間違って伝わってしまうからです。神様を信じる私たちには、イエス様から伝道するお手伝いを頼まれています。ですから私たちは神様のメッセージを伝える前に必ずお祈りをして、聖霊の神様が正しく導いてくださるように自分を整える必要があります。

7. 金曜日：さらなる研究

聖書のみ言葉を読むときには、自分の自己満足を満たすために読むのではなく、イエス様が自分に何を伝えようとされているのかを意識して読むことが大切です。聖書や神様を自分に合わせようとするのではなく、自分が神様のメッセージに合わせるようにしましょう。それを可能にするにはお祈りが絶対に必要となります。

★振り返りの質問★

あなたは、聖書の教えを知っているのに、それに逆らってしまった経験や、従いたくないなあと思ってしまったことはありますか？ その時はどうなりましたか？ また、その体験からどんなことを学びましたか？